

# ストロング バランス

Strong Balance

4つの機能を  
1つの肥料に



カルシウムをベースとした  
オールインワンミネラル肥料です

## ストロングポイント1 省力化できる土づくり肥料

- カルシウム補給から微量元素補給、pH改善まで幅広くカバー!
- 含有する全ての成分がギュッと詰まった一粒タイプだから撒きムラや飛散の心配不要!!

従来の土壌改良イメージ



この1資材でOK! ストロングバランスのイメージ



施肥目安 (5袋)  
100kg/10a

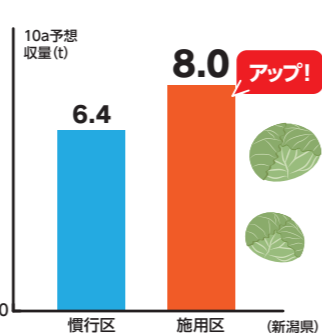
粒状タイプで  
撒きやすい!

## ストロングポイント2 作物の下層根までしっかり届く

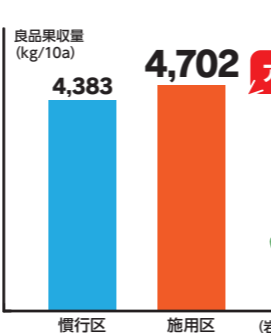
- 水に溶けやすく作物の下層根までしっかり届くカルシウム含有!!



キャベツ収量比較



ピーマン収量比較

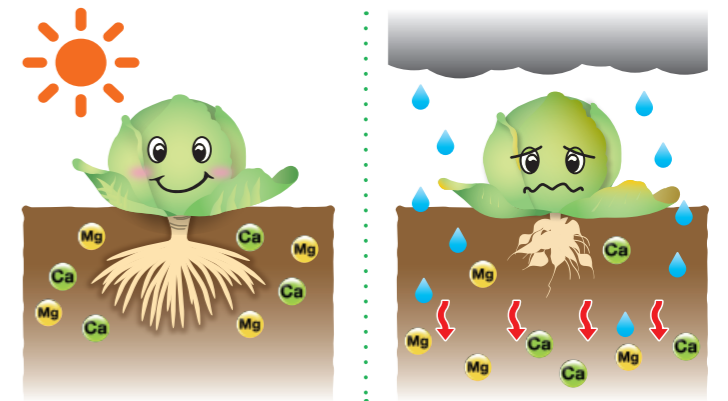


## ストロングポイント3 土壌pHを改善

土壌pHが酸性に偏ると...

- 作物の生育に影響\*
- アルミニウムや鉄の過剰害
- リン酸の不可給化によるリン酸欠乏
- 根こぶ病が発生しやすい (キャベツなどのアブラナ科)

\*裏面「主要な作物の好適pH範囲」参照



日本は降雨が多く、土壌の塩基分が流亡しやすいため、酸性に傾きやすい。

## ストロングポイント4 カルシウム、苦土、各種微量元素を1粒に。

カルシウムが欠乏すると...

カルシウムは作物体内で移動しにくいので、不足すると生長点や葉の先端に近いところに症状が現れます。また、果実の組織が壊死したり、切り花の首折れ症の一因にもなります。



果実の花つき部が黒変する。(しり腐れ)



心葉の生育が阻害され、葉が内側に巻く。



チップバーン。新葉の葉先が褐変する。

苦土が欠乏すると...



葉緑素の形成が阻害され、葉脈間が黄化します。

苦土欠乏が起こりやすい作物

果菜類	根菜類	果樹
<ul style="list-style-type: none"> <li>トマト</li> <li>メロン</li> <li>スイカ</li> <li>キュウリ</li> <li>ナス</li> <li>イチゴ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイコン</li> <li>カブ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リンゴ</li> <li>ブドウ</li> <li>オウトウ</li> </ul>

微量元素が欠乏すると...



ホウ素欠乏



マンガン欠乏

亜鉛、銅不足でも生理障害を生じることがあります。

これらの症状を  
ストロング  
バランスで予防!



詳しくは裏面へ



# 早わかり!! ストロングバランス

## 成分 (%)

保証成分	アルカリ分	<溶性苦土	<溶性マンガン	<溶性ほう素
	<b>35.0</b>	<b>12.0</b>	<b>0.20</b>	<b>0.20</b>
分析例	カルシウム全量	水溶性カルシウム	硫黄全量	鉄全量
	<b>33.4</b>	<b>12.1</b> ※	<b>8.4</b>	<b>0.10</b>
効果発現 促進材	亜鉛	銅	※水溶性カルシウムは、抽出カルシウム濃度がほぼ頭打ちとなる溶媒比で抽出。 ※自社分析値。	
	<b>0.07</b>	<b>0.04</b>		



## 使い方

### 対象作物 園芸全般

#### 好評※だった作物

- 葉菜: キャベツ、ハクサイ、ネギ、カリフラワー
- 根菜: ダイコン
- 果菜: トマト、ピーマン
- 畑作物: ダイズ

※自社で行ったお試しキャンペーンによる生産者の評価

### 施用法 基肥全層

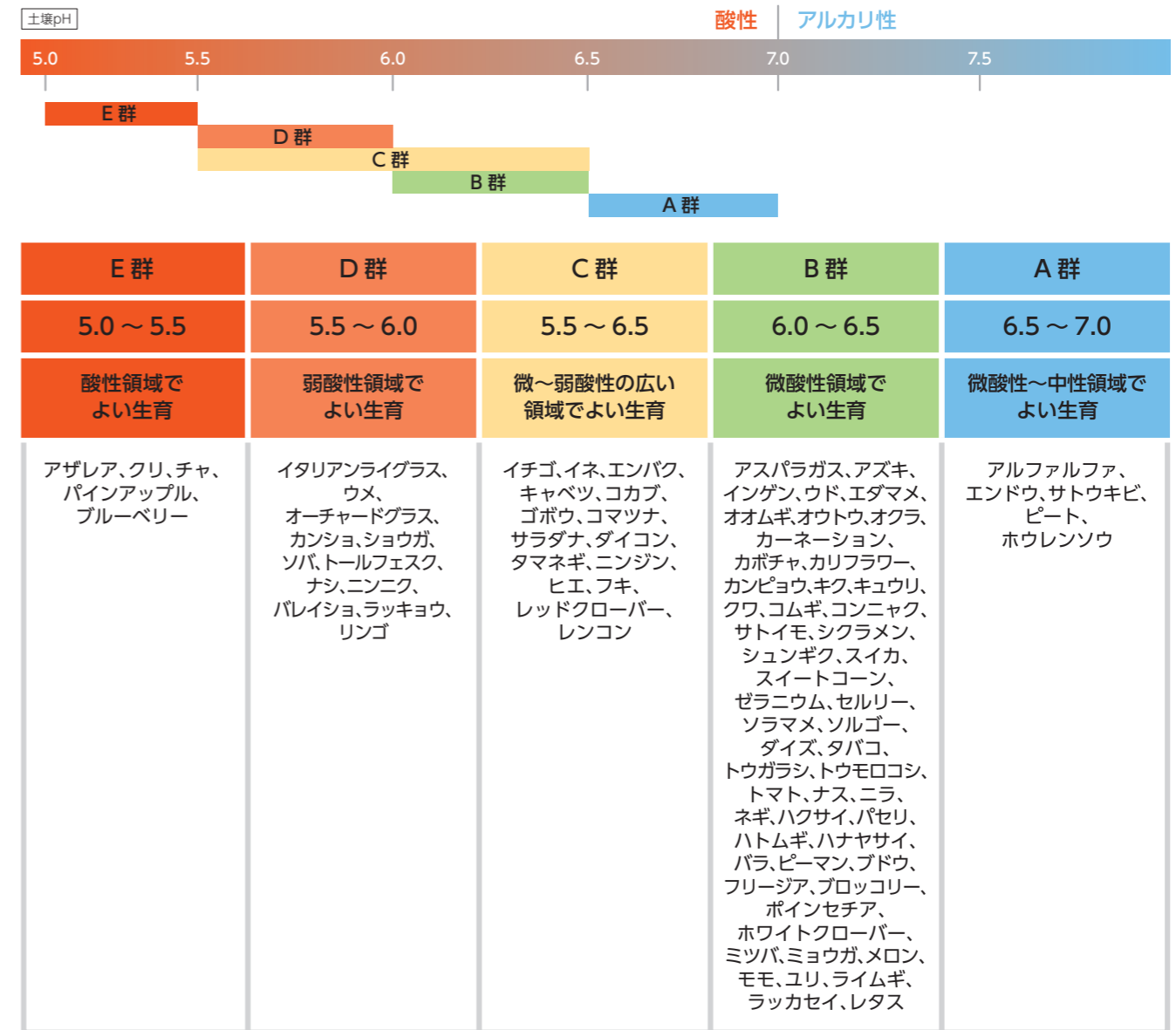
## 100kg/10a(5袋)

基肥として施用しますと、植えた後の活着に特に効果的です。

※作物・土壌条件に合わせて適宜加減して下さい。

## 主要な作物の好適pH範囲

ストロングバランスは土壌のpHを上げる効果があります。各作物の好適pHでの栽培に役立ちます。



肥料便覧第6版より

## — 実際にご使用いただいた方々の声を集めました! —

### 省力について

#### ネギ

現在、2種類の土づくり資材を組み合わせで使用しているが、ストロングバランスを使用することで施肥量の軽減が図れ、コスト的にも下がることから継続使用したい (山形県)

#### ピーマン

改良資材の省力化が出来てよい。トータルコストで比較すると、コスト低減になるので良い (青森県)

#### ピーマン

施肥回数が削減できて良い。Ca欠乏もなかった。今年も欲しい (青森県)

### 生育について

#### ピーマン

施肥しない区は尻腐れが多発したが、「ストロングバランス」を施用した区は尻腐れの発生が少なかった (青森県)

#### ミニトマト

カルシウム欠乏の発生が見られなかった (神奈川県)

#### キュウリ

ストロングバランスの方が後半まで長持ちしたように感じた (青森県)

## ワンポイント Q&A



### ストロングバランスを毎年使い続けた場合、 Q 土壌のpHはどうなりますか？

**A** 標準施用量を使い続けても、土壌pHが極端に上昇する可能性は低いと考えられます。日本は降雨が多く、土壌が酸性化しやすい傾向にあります。また施肥の影響でも酸性化します。これらの点を考慮し、ストロングバランスの酸度矯正効果は、連用によって適正な土壌pHが維持できる程度としています。

### カルシウム・苦土や微量元素の欠乏症が出ていないところでは、ストロングバランスを施用する必要はないのでしょうか？

**A** 作物に欠乏症状が現れるのは養分不足の最終段階です。それまでに作物体内の働きに支障が出ていることがあります。つまり、潜在的な欠乏状態です。したがって、実際に目で確認できる欠乏症状が出ていなくても不足すると思われる場合は施用をおすすめします。

### Q 溶かして葉面散布で使っても大丈夫ですか？

**A** ストロングバランスは粒状のまま使用することを前提にした肥料です。葉面散布で使用することを想定しておりませんので積極的におすすめしません。